



# 令和4年度 苫小牧市立泉野小学校 グランドデザイン

【北海道教育推進計画基本理念】

【自立】自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む。  
 【共生】ふるさとへの誇りと愛着をもち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む。

【苫小牧市教育大綱】 『未来の社会をつくるひとづくり』

① ニーズに応じた確かな学力 ② 豊かな人間性と健康な体 ③ 信頼される学校づくり  
 ④ 家庭・地域で子どもを育てる環境作り ⑤ 郷土のよさを生かした潤いある生涯学習

**学校教育目標**  
 (知) よく考え、学ぶ子  
 (情) 明るく、思いやりのある子  
 (意) 正しいことを進んでする子  
 (体) 健康で、がまん強い子ども

【目指す子ども像】  
**自らすすんで学ぶことのできる子**    **自他のよさを認め合い、高め合える子**  
**明るく元気に気持ちのよいあいさつができる子**  
**落ち着いた学びの環境づくりに心がける子**    **最後まであきらめずにやりきる子**

**目指す学校像**  
 子どもにとって、子ども自身が学びたいと思う楽しい学校  
 保護者にとって、保護者が学ばせたいと信頼できる学校  
 地域にとって、おらがまちの誇りとして、支援したくなる学校  
 職員にとって、豊かな発想を生かし、働きがいのある学校

- 単元・1 単位時間の授業のゴールの明確化
- 話し合い活動の基礎・基本となる力の定着
- GS構想「STEP2」内容の活用推進
- 学びのプランに基づく学習の充実
- ふるさと教育と連動した環境教育の充実化
- 指導と評価の一体化を促す調査活用と改善
- 高学年を中心とした学年内交換授業の推進

- 泉野 Style の徹底    ○ 教室環境の整備
- 家庭学習取組強調週間の設定
- e-ライブラリの意図的・計画的活用
- 読書啓発活動推進と「子ども新聞」活用

- 校内支援委員会を核とした支援体制整備
- 個別の支援計画・指導計画の整備・活用
- 障がい種別の適切な教育課程・支援 G 編成
- 特別な配慮を要する児童への支援の充実

- 中学校区教育力向上 P による取組推進
- 中学校教員による出前授業の継続・拡大
- 中学校の学びの見える化
- 小1 プロブレム解消及び、支援教育の充実に向けた幼・保との連携強化

- 学校支援ボランティア本部会議を核とした地域情報と児童情報の共有
- CS 化を視野に入れた関係者評価の充実
- 来校機会の設定～行事、参観日等の PR
- 地域人材・素材の掘り起こしと活用



**児童に育みたい資質・能力**  
 ① 各教科の基礎となり、活用できる知識・技能（知識・技能）  
 ② 自分の考えや思いを相手にわかるように伝える力（思考力・判断力・表現力）  
 ③ 他者の考えを受容し、練り合い、新たな考えを生み出す力（思考力・判断力・表現力）  
 ④ 学びの見通しをもち、課題に粘り強く取り組む力（学びに向かう力・人間性）  
 ⑤ 仲間と協力し、共に学び合える力（学びに向かう力・人間性）



- 道徳授業の質的向上と実践、研究成果の発信
- 道徳教育の充実～別業の機能化
- “心の授業”の全学年実施（外部講師招聘）
- 泉野スタンダードのあいさつの浸透、深化
- 悪いことは悪い、と言える学校風土の醸成
- 望ましいメディアマナーと利用習慣形成

- 自主性、創意工夫に満ちた取組を生む児童会運営
- 達成感・成就感を味わい、感動を生む学校行事の取組実践
- “その道のプロ”に学ぶ場の設定

- 年間を通じた体力向上策の推進
- 生活リズムチェックの実施による生活習慣改善と定着
- 横断的計画立案による防災教育の推進～交通安全指導の強化

- 学校評価アンケートの複数回実施～判断材料提示による客観性の保持
- 目安箱（保護者の声 BOX）の設置
- 教育懇談の7月設定による児童理解の深化

- 学校要覧の継続作成（方針等の周知）
- 情報発信機能の充実（HP、メール、通信）
- 親子で学ぶ機会の充実（メディア利用）

学習意欲の向上と確かな学力の定着  
 ・「学びの泉野ブランド」確立  
 ・学校“まるごと学びの空間”化  
 ・個の実態や特性に応じた指導、支援の充実

**児童**

豊かな心と健やかな身体の育成  
 ・「特別の教科 道徳」の授業の質的向上  
 ・創意工夫ある児童会活動、体験活動の充実  
 ・年間を通じた体力向上策の推進

（心を核に）

**地域**    **児童の未来の幸せに寄与する心の学校を**    **保護者**  
 （一枚岩で）    **ファミリー泉野で創ろう**    （共に）  
**教職員**    **経営の基本方針**

教育活動の質を高め、充実化を図る連携強化  
 ・ 学びの連続性を踏まえた教育の推進  
 ・ 家庭、地域との協働による教育活動の推進

**教職員**

（意識高く）

共通理解と同一歩調を基盤とした教職員集団の形成  
 ・ 学校教育目標の具現化に向けた経営方針の浸透  
 ・ 魅力あふれる、教育のプロたる教師集団づくり

**保護者**

信頼される学校づくり  
 ・ “F 泉野の基盤となるネットワークづくり  
 ・ 参画意識を高める評価システムの確立

- 教職員のキャリアアップと業務効率化
- 業務平準化の推進
- 主体的かつ機動的な組織体制の再構築
- 特別委員会の機能化

- 「報・連・相」の徹底
- 教職員の同僚性の向上
- 児童の範となる行動実践

- 校内・外研修の充実、「トリビアの泉」の充実
- コンプライアンス保持徹底（研修機会の設定）
- 働き方改革の推進～コアチームの機能化  
 ・ 改革、改善の視点による継続的な見直し